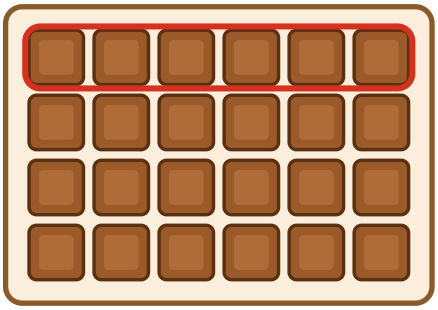
クイズ1　まとまりを 見つけよう

ルール ならんで いる チョコを、まとまりに 目を つけて 九九で 数えよう。
使う ちしき：かけ算（1つ分の 数×いくつ分）

★☆☆
目安 10分

1 チョコレートの はこを 見て、答えましょう。



(1) よこの 1れつを まとまりに すると

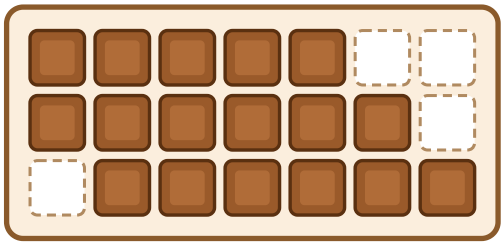
6 × 4 ＝ 24

(2) たての 1れつを まとまりに すると

4 × 6 ＝ 24

(1) よこの 1れつは 6こ。6こずつ 4れつ なので 6×4＝24。(2) たての 1れつは 4こ。4こずつ 6れつ なので 4×6＝24。まとまりの 見方を かえても、ぜんぶの 数は 同じ 24こ。

2 もう 1つの はこは、何こか 食べて しまいました。



(3) はこに ぜんぶ 入って いたら 何こ？

7 × 3 ＝ 21

(4) のこって いる チョコは 何こ？

17 こ

(3) 7こずつ 3れつ で 7×3＝21（3×7 と 書いても せいかい）。(4) 食べた ところは 4こ。21−4＝17 で 17こ。1こずつ 数えるより、九九で ぜんぶを 出して から ひくと はやい。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。

赤い 字が 答え。

クイズ2　九九の ぬりえ

ルール 答えが 30より 大きい ますだけを ぬろう。ぬりおわると、形が 出て くるよ。
使う ちしき：九九・数の 大きさくらべ

★★☆
目安 15分

1 答えが 30より 大きく なる ますを、色えんぴつで ぬりましょう。

5×5	9×3	5×6	4×8	3×6	9×2	3×3
3×8	4×5	5×4	6×6	8×7	4×7	3×9
2×8	6×3	7×2	9×4	7×6	8×8	2×5
2×9	3×5	4×3	7×5	6×5	7×4	8×3
9×6	9×9	9×5	7×8	8×4	6×7	9×7
2×7	5×7	6×8	8×9	5×8	7×7	6×2

ぬる ますは 19こ。4×8＝32、5×7＝35、6×6＝36 の ように 30を こえる ますを ぬる。5×6・6×5（30）、4×7・7×4（28）、3×9・9×3（27）は 30より 小さいか 同じ なので ぬらない。この 6つを ぬると ふねの 形が くずれる。

2 ぬると、どんな 形が 出て きましたか。○で かこみましょう。


ふね


いえ


木

ぬった ますを はなれて 見ると、ふねの 形に なる。形が 出ない ときは、30 ちょうどの ますを ぬって いないか たしかめよう。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。　赤い 字が 答え。

クイズ3　九九表の かけら

ルール

かけらの 数から、九九表の どこの かけらかを 見つけよう。どの かけらも、あう 場所は 1つだけ。
使う ちしき：九九表の きまり（だんの 数ずつ ふえる）

★★☆
目安 15分

1 九九表が やぶれて、かけらに なりました。あいて いる ますに 数を 書きましょう。

(1)

21	28	35

(2)

16
24
32

(3)

15	18
20	24

(4)

36	42	48
42	49	56

(1) 21 から 35 まで 右へ 2ます。ここが 7の だんなら 7×3＝21、7×5＝35 で あう。まん中は 7×4＝28。7ずつ ふえて いる（21、28、35）。

(2) 16 から 2ます 下で 32。2ます で 16 ふえたので、1ます で 8 ふえる。たてに 8ずつ ふえるのは かける数が 8 の れつ。2×8＝16、4×8＝32、まん中は 3×8＝24。

(3) 18 と 20 が ななめ。3の だんで 3×6＝18、4の だんで 4×5＝20 なら あう。左上は 3×5＝15、右下は 4×6＝24。

(4) 36 は 4×9・6×6・9×4 で 出る。1だん 下で 2ます 右が 56 に なるのは 6×6 の ときだけ（7×8＝56）。上の だんは 6の だんで 6×7＝42、6×8＝48。下の だんは 7の だんで 7×6＝42、7×7＝49。

2 (1)の かけらは、何の だんですか。

答え [7] の だん

21 から 2ます 右で 35。2ます で 14 ふえて いるので、1ます で 7 ふえる。7ずつ ふえるのは 7の だん。28 を 入れると 21、28、35 と 7ずつ ふえて いる。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。　赤い 字が 答え。

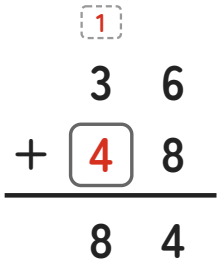
クイズ4　たし算の 虫くい算

ルール かくれた 数字を 見つけよう。ふつうは 一の位から 考える。どの 問題も、答えは 1つだけ。
使う ちしき：たし算の ひっ算（くり上がり）

★★☆
目安 15分

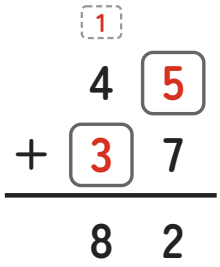
1 □に 当てはまる 数を 書きましょう。くり上がりの 数は、小さい ますに 書きます。

(1)



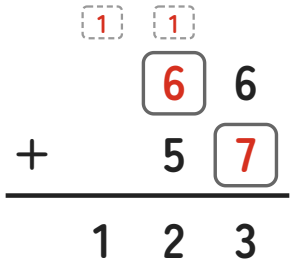
一の位：6＋8＝14 で、十の位に 1 くり上がる。十の位：3＋□＋1＝8 → □は 4。36＋48＝84。

(2)



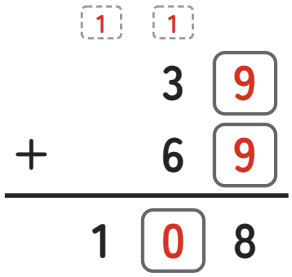
一の位：□＋7 の 一の位が 2 → 5＋7＝12（1 くり上がる）。十の位：4＋□＋1＝8 → □は 3。45＋37＝82。

(3)



一の位：6＋□ の 一の位が 3 → 6＋7＝13（1 くり上がる）。十の位：□＋5＋1＝12 → □は 6。66＋57＝123。

(4) ★チャレンジ



十の位を 先に 見る：答えは 3けた（百の位が 1）なので、十の位の たし算は 10 いじょう。3＋6＝9 だから、一の位から 1 くり上がって 9＋1＝10。十の位は 0。一の位は □＋□＝18 で、どちらも 9。39＋69＝108。

答えが 1つに 決まる わけ：(1) は 十の位、(2)(3) は 一の位の 答えの 数字から、□に 入る 数は 0〜9 の うち 1つしか ない。(4) は、答えが 3けたなのに 十の位は 3＋6＝9 なので、一の位から 1 くり上がって いる。だから 一の位は 18 で、9＋9 だけ。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。　赤い 字が 答え。

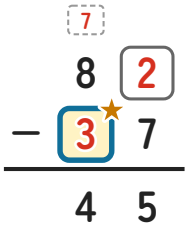
クイズ5　ひき算で 宝さがし

ルール ひき算の かくれた 数字を 見つけて、★の 数を もじに かえよう。
使う ちしき：ひき算の ひっ算（くり下がり）

★★☆
目安 15分

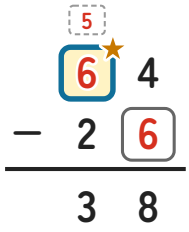
1 □に 当てはまる 数を 書きましょう。1 くり下げた 位の、へった あとの 数を、上の 小さい ますに 書きます。

(1)



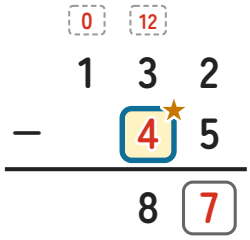
一の位：□−7 で 5 → 12−7=5（十の位から 1 くり下げた）。□は 2。十の位：8は 一の位に 1 かしたので 7。7−□=4 だから □は 3。82−37=45。

(2)



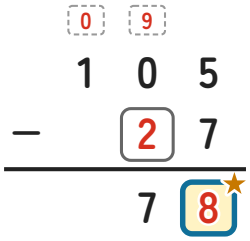
一の位：4−□ で 8 → 14−6=8 で □は 6（くり下げた）。十の位：□−1−2=3 → □は 6。64−26=38。

(3)



一の位：2−5 は ひけない ので、十の位から 1 くり下げて 12−5=7。答えの 一の位は 7。十の位：3は 一の位に 1 かしたので 2。2から □は ひけないので、百の位から 1 くり下げて 12。12−□=8 だから □は 4。132−45=87。

(4) ★チャレンジ



一の位：5−7 は ひけない → 15−7=8 で □は 8。十の位は 0 なので、百の位から 1 くり下げて 10。そこから 一の位に 1 かしたので 9。9−□=7 だから □は 2。105−27=78。

2 ★の ますの 数を、暗号表で もじに かえましょう。(1)から じゅんに ならべると、宝の 名前が 出て きます。

数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
もじ	た	か	ら	ほ	せ	は	う	こ	き	ま

(1)の ★ → (2)の ★ → (3)の ★ → (4)の ★

ほ → う → せ → き

★は 3・6・4・8 で「ほうせき」。(1)で くり下がりを わすれると ★が 4（せ）に なり、ことばに ならない。ひき算の 答えは、答え＋ひく数＝ひかれる数 で たしかめよう（45＋37＝82）。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。

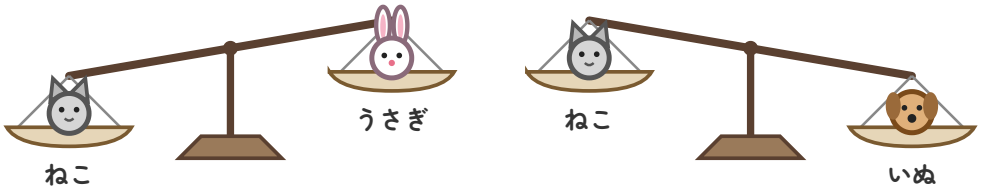
赤い 字が 答え。

クイズ6　てんびんの なぞ

ルール 下がった ほうが 重い。てんびんを 1つずつ 読んで、重さの じゅんを 決めよう。
使う ちしき：くらべ方・九九

★★☆
目安 15分

1 どうぶつの 重さを てんびんで くらべました。



(1) 一番 重いのは？ **いぬ**

(2) 一番 軽いのは？ **うさぎ**

1つめの てんびんで ねこ＞うさぎ、2つめで いぬ＞ねこ。だから いぬ＞ねこ＞うさぎ。一番 重いのは いぬ、一番 軽いのは うさぎ。

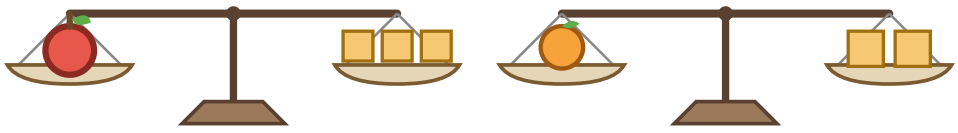
2 はこ あ・い・う・え の 重さを くらべました。重い じゅんに ならべましょう。



(3) 重い **う** → **あ** → **い** → **え** 軽い

う＞あ、あ＞い、い＞え を つなげると う＞あ＞い＞え。どれか 1つの てんびんが ないと、じゅんばんは 1つに 決まらない。

3 りんご 1こは つみき 3こ、みかん 1こは つみき 2こと つりあいます。



(4) 左の さらに りんご 2こ、右の さらに みかん 3こを のせると、どう なる？ ○で かこみましょう。

りんごが 下がる　**つりあう**　みかんが 下がる

(5) りんご 4こと つりあう みかんは 何こ？ **6** こ

(4) りんご 2こは つみき 3×2=6こ、みかん 3こは つみき 2×3=6こ。同じ 6こ なので つりあう。(5) りんご 4こは つみき 3×4=12こ。みかん 1こは つみき 2こ なので、2の だんで 12に なる 2×6=12。みかんは 6こ。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。　赤い 字が 答え。

クイズ7　数カードの ひっ算



ルール　数カードの おき方を くふうして、答えが 一番 大きく・小さく なる ひっ算を 作ろう。
使う ちしき：位（十の位・一の位）・ひっ算

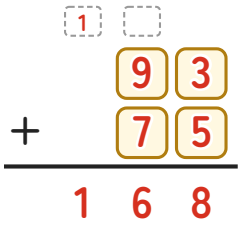
★★★
目安 20分

1　(1)〜(3)の どれも、4まいの カードを 1回ずつ ぜんぶ 使って 2けたの 数を 2つ 作り、ひっ算を します。

3	5	7	9

2　カードの 数を □に 1つずつ 書いて、ひっ算を しましょう。

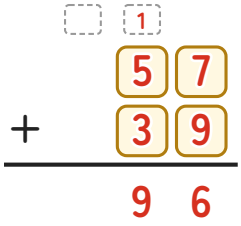
(1)　答えが 一番 大きく なる たし算



線の 下に 答えを 書こう。
くり上がりは 小さい ますに 書こう。

大きく したい ときは、大きい 9 と 7 を 十の位に、5 と 3 を 一の位に おく。93＋75＝168。 ほかの せいかい：95＋73（一の位どうしを 入れかえた もの。75＋93 の ように 上と 下を 入れかえても よい）。

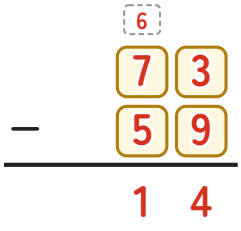
(2)　答えが 一番 小さく なる たし算



線の 下に 答えを 書こう。
くり上がりは 小さい ますに 書こう。

小さく したい ときは、小さい 3 と 5 を 十の位に おく。57＋39＝96。 ほかの せいかい：59＋37（一の位どうしを 入れかえた もの。39＋57 の ように 上と 下を 入れかえても よい）。

(3)　答えが 一番 小さく なる ひき算（ひかれる数の ほうが 大きい）



線の 下に 答えを 書こう。
くり下げた あとの 数は 小さい ますに 書こう。

十の位の ちがいが 2 に なる くみは 5と3・7と5・9と7。のこりの カードで、ひかれる数の 一の位を 小さく、ひく数の 一の位を 大きく すると、くり下がって 答えが 小さく なる。57−39＝18、73−59＝14、93−75＝18 だから、14 が 一番 小さい。 ほかの せいかい：なし。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。　赤い 字が 答え。